

---

# 戦火の巨人像

うめ太郎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

戦火の巨人像

### 【Nコード】

N1937Q

### 【作者名】

うめ太郎

### 【あらすじ】

西暦1927年5月、アメリカ大陸では、「北アメリカ帝国連合」と「海洋連邦機構」の2つの国に分かれていた。アメリカ大陸統一を目指す「北アメリカ帝国連合」は、大陸の覇権を巡り、「海洋連邦機構」に宣戦布告をした。「第二次アメリカ大戦」の勃発である。後にこれは「神話の戦争」と呼ばれる戦いの始まりである。二つの部隊の視線から描いた、オムニバスストーリー。

・序章・（前書き）

この小説はテスト投稿であり、途中の文章を投稿しています。後日  
完全版を投稿予定です。

- 序章 -

西暦1927年5月、アメリカ大陸では、「北アメリカ帝国連合」と「海洋連邦機構」の2つの国に分かれていた。アメリカ大陸統一を目指す「北アメリカ帝国連合」は、大陸の覇権を巡り、「海洋連邦機構」に宣戦布告をした。「第二次アメリカ大戦」の勃発である。後にこれは「神話の戦争」と呼ばれる戦いの始まりである。

帝国が連邦に宣戦布告して間もない頃、一人の青年が故郷に里帰りをしていた。

「どこをみても、辺りが緑色だなあ。何の変化もないな、ここの田舎は……。」

民間人の安全を確保するため、都市「アーデルハイド城下町」から、軍の方々が迎えにくる予定なのだ。この町「バスカー」は帝国の国境線に近く、かならず帝国が攻撃するであろう町に心配症の青年「ヴァイス・スターク」は、母に何かあつたら困ると、そういう理由で危険な町にわざわざ来たのだった。

「あら？ぼつちゃん！！」

遠くから手を振っている40代後半のおばさんがヴァイスに向かって呼びかけた。ご近所の「マリアベル」おばさんだ。ヴァイスが小さい頃、よく世話になった人だ。ヴァイスはため息を吐いて、

「ぼつちゃんって……、僕はもうそんな呼ばれる歳じゃないよ。」お腹から声を出して高笑いする。

「あつはつは！！そりゃそうだね。なんせ7年ぶりにあつたもんだから。少し身長伸びたね？」

「うん、まあね。おばさんはしわ増えたね。」

マリアベルおばさんは、自分の顔に両手をあてて、なでた。

「そうかい？常にケアはしてるんだけどねえ……歳は取りたくないもんだよ！」

おばさんは、顔を引き締めて、

「ところで、なんでわざわざこんな危険な場所にわざわざ帰ってきてたんだい？」

「母さんが心配でさ、ちょっと様子見にね。」

「なるほどね。帝国がもうすぐ来るって言っから、気をつけなさいよ！！」

笑顔で答える。

「うん。じゃ、僕は母さんの家に行くね。」

走りながら手を振り、ヴァイスは母さんの所へ向かった。家に着き、立ちすさんで、

「塗り替えたのかな・・・？」

家の板等が、剥けていないため、そう思った。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1937q/>

---

戦火の巨人像

2011年1月16日21時41分発行